

認知症の予防、ケア解説

サイエンス講座 専門家招き仙台で29日

東北大と読売新聞が共同で企画する講演会「市民のためのサイエンス講座2014」が29日、東北大片平さくらホール(仙台市青葉区片平)で開かれる。「ここまでわかった認知症の予防とケア」と題して3人の専門家が語る。



目黒教授



木之村所長



山崎医師

講座では、同大大学院医学系研究科の目黒謙一教授が、健康な高齢者の物忘れと認知症との違いや、様々

なタイプの認知症の原因や特徴など、基礎知識を解説。予防と早期発見、治療の現状について、最近の研究成

果を交えながら講演する。

続いて、NPO法人「画像医学と脳健診」(仙台市泉区)の診療所の木之村重男所長が、脳血管性認知症の原因となる脳卒中の予防・予測に脳健診が果たす役割を説明する。さらに、認知症のリスクを軽減させる生活習慣について話す。

いずみの杜診療所(同)の山崎英樹医師は、認知症による心身の不調に苦しむ人や家族に寄り添い、精神面から支えるケアのあり方

を紹介。デイケアやグループホームでの実践に基づく認知症ケアの理念と手法を語る。

講座は午後2時から。入場無料(定員156人)。申し込みは「住所、名前、職業、年齢、電話番号、希望人数」を明記し、読売新聞東北総局「市民のためのサイエンス講座」係へ。はがき(〒980・0021 仙台市青葉区中央2の3の6)か、ファクス(022・2222・8386)、電子メール(tohoku@yomuri.com)で。講演者への質問があれば記入する。

締め切りは24日(必着)。問い合わせは東北総局(022・222・4121)。